

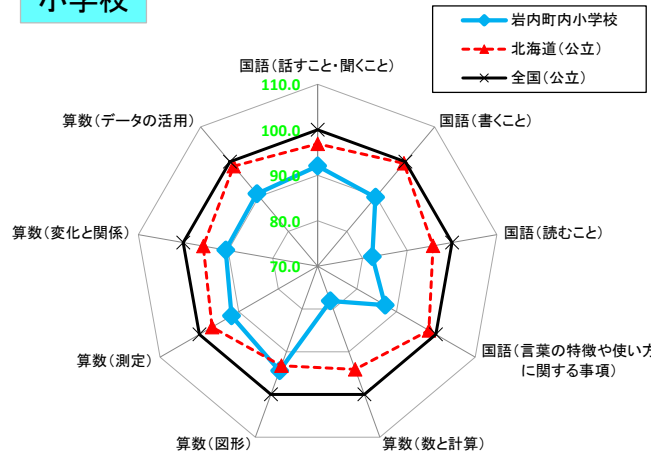
■岩内町内の状況及び学力向上策（小学校数:2校、児童数:67人）（中学校数:2校、生徒数:66人）

【教科全体の状況】

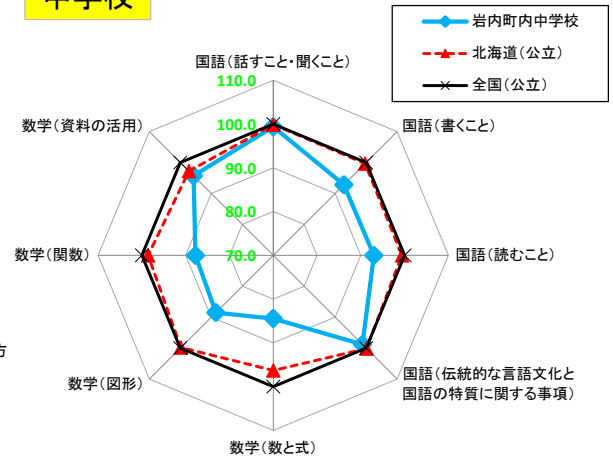
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものを（市町村の平均正答率÷全国（公立）の平均正答率×100で算出）

| 平均正答率 | 小学校 | 中学校 |
|-------|-----|-----|
| 国語 | 57 | 62 |
| 算数・数学 | 62 | 51 |

小学校

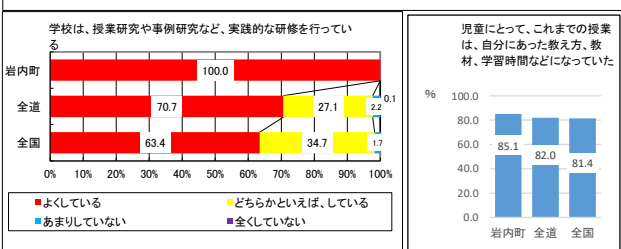
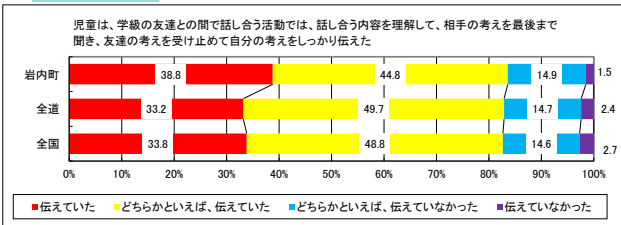


中学校

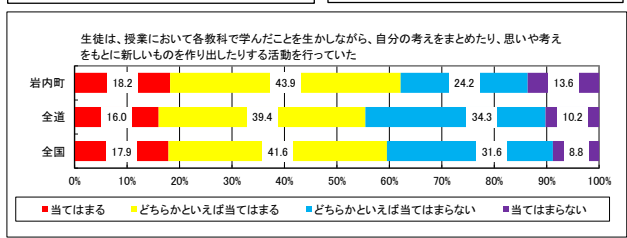
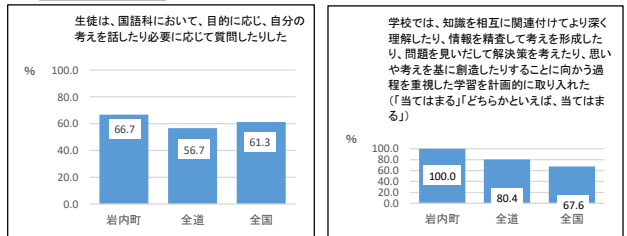


【質問紙の状況】

小学校



中学校



【上記結果の考えられる要因の分析】

小学校

学級の友達との間で話し合う活動において、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、友達の考えを受け止めて自分の考えをしっかりと伝える指導を行っていたことにより、前回に比べ、国語の「話すこと・聞くこと」で全国に近付いたと考えられる。

授業研究や事例研究など、実践的な研修を行ったことにより、「授業は、自分にあつた教え方、教材、学習時間などになっていた」と回答した児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

中学校

国語の授業において、目的に応じて、自分の考えを話したり必要に応じて質問したりする授業を行ったことにより、「話すこと・聞くこと」で全国に近付いたと考えられる。

学校では、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう過程を重視した学習を計画的に取り入れたことにより、「授業において各教科で学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめたり、思いや考えをもとに新しいものを作り出したりする活動を行っていた」と回答した生徒の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

【岩内町の学力向上策】

- ◎ 小中一貫教育の推進
- ◎ 複数教員の配置による習熟度別少人数指導
- ◎ 基礎学力向上の定着を図るための学習指導員の配置
- ◎ ICTを効果的に活用した授業実践